

3 相談・対応

学内外からの様々な相談に応じることで、ニーズや課題を発掘するとともに、大学の資源（知識、技術、マンパワーなど）とのマッチングを図っています。主な相談者・相談内容は以下の通りです。

主な相談者/内容

県民局や市役所、大学（本学の他学部や他大学）、公益財団法人、NPO法人、地域づくり組織、営農組合、土地改良区、市民（団体/個人）などからの相談がありました。

具体的な内容としては、施設の有効利用、子ども食堂に関するボランティア、地域イベントのサポート、研究協力者の紹介、フィールドの紹介、地域づくり組織の立ち上げや効率的運用、セミナーやイベントの周知、新規就農促進に向けた仕組みづくり、農村へのボランティア、資源活用に向けた仕組みづくりなどがあります。

対応としては、アドバイスやアイデアの提供にはじまり、人材の紹介やフィールドへの訪問、プロジェクトの始動などをおこないました。



フィールド訪問の様子@市川町

相談対応の事例

子どもの居場所づくり事業や子ども食堂の運営サポートなどを通して、ボランティア受け入れのプラットフォームづくりをおこなう「明石子ども財団」から、ボランティア募集協力の相談を受けました。そこで、ボランティア活動や子どもに関連した活動を希望する学生とボランティアの受け入れ先をつなぐ学生団体「conneko-コネコ-」とともに、対応しました。具体的には、学生団体と役割分担をおこない、説明会を実施しました。

下写真：説明会の様子
右図：学生団体が作成した説明会勧誘ポスター





子ども × ボランティア

学生とボランティアつながります。



2022.12.8 Thursday
12:30~13:00
@ 環境人間学部 A401
申し込み方法：Googleフォーム
左のQRコードを読み取ってください

ボランティアに参加したい！
子どもと関わりたい！
でも、どうしたらいいかわからない…
そんな悩みはありませんか？

子ども食堂とボランティアを繋ぐ活動を行っている「公益財団法人 あかし子ども財団」をお招きし、子どもと関わることでできるボランティアを紹介させていただきます。



子どもを親としたまま子育て可能な環境を整える財団で設立した「あかし子ども財団」は、地域の中で子どもたちを地域みんなが育ち育てる環境を整えるために子ども食堂に関わり取り組むための活動から発展し、地域活性化、農業に、スポーツやアートなどの活動まで幅広く取り組んでいます。（あかし子ども財団HPより）



地域の子どもたちを応援としたゼンセンの学生団体として、この学生団体の活動を通して、学生と地域のつながりを深め、学びの機会を広げていきます。また、地域の子どもたちを応援している団体をお探しし、解決策を探ります。



明石子ども財団HP

主催：兵庫県立大学環境人間学部
エデュケーション推進センター
公益財団法人 明石子ども財団
協力：conneko-コネコ-

全日本コンスタ